

公認プログラム



中学生、高校生、大学生のための
株式学習コンテスト

第18回

日経STOCKリーグ

募集要項

最優秀チームを海外研修旅行にご招待
学習教材は無料提供いたします

アイデア賞とルーキー賞を新設！

【参加チーム募集】

第1次締切 2017年6月30日(金)

最終締切 2017年9月 5日(火)

- 主 催：日本経済新聞社
- 後 援：文部科学省
金融庁
日本証券業協会
日本取引所グループ
全国公民科・社会科教育研究会
一般財団法人 日本私学教育研究所
公益財団法人 全国商業高等学校協会
全国高等学校長協会
- 特別協賛：野村ホールディングス

東京2020参画プログラム より参加しやすい日経STOCKリーグへ

日経STOCKリーグは、学校教育の中で生きた経済を学習する教材の提供を目的として2000年よりスタートしました。開催当初より各方面からの高い評価を頂き、過去17回の開催で延べ10万名超の学生が参加しました。生きた経済を感じ・触れることができるこのプログラムは、次期学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」にも繋がり、「主体的・対話的で深い学び」を実現するものです。

経済・株式投資の基礎をしっかりと身につけてもらえるプログラムとするため、第16回より学習ガイドブックを導入しました。加えて、レポートフォーマットをご用意し、それに沿って学習を行えばレポートを完成させることができるので、レポート提出まで取り組みやすくなりました。

また今回より、特筆すべきテーマや発想に対して贈るアイデア賞と参加回数が3回以内の学校に限定したルーキー賞を新設しました。テーマの多様化と裾野の拡大をより推進し、これからも実際の経済と投資の結びつきをより深く体感できるものにしていきます。

日経STOCKリーグは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の「東京2020参画プログラム」です。積極的な学びを通じ、幅広い交流や多様な経験を重ね、未来につながる機会を創出していきます。多くの方に参加いただけるプログラムとなるよう日経STOCKリーグは進化していきます。

日経STOCKリーグで養われる力

中学	高校	大学
経済・金融の基礎 アクティブラーニング	キャリア教育 グローバル思考	企業理解 職業観の醸成
経済や金融のしくみや働きの理解につながり、企業の役割や責任について考えるきっかけになる。 他者と協同して課題を見つけ解決する力、自ら情報を集め分析し、まとめて表現する力が養われる。	株式投資など金融についての理解が深まるとともに、企業分析を通じて人と企業の経済活動における役割を学ぶことができる。 広範囲な事象からテーマ探しを行うことで、地域社会を見つめ直すとともに、グローバルに目を向けるきっかけとなる。	企業を分析することが就職活動など社会に出る前の準備に役立つ。 チームマネジメントやプレゼンテーションなど社会に出て役立つスキルを実践の中で身につけることができる。

参加チームのサポート体制もより一層充実

野村グループの担当者が参加学校を訪問して経済・株式投資の基礎などをお話させていただき出張授業をご利用いただくことも可能です。(無償)

お問い合わせ先

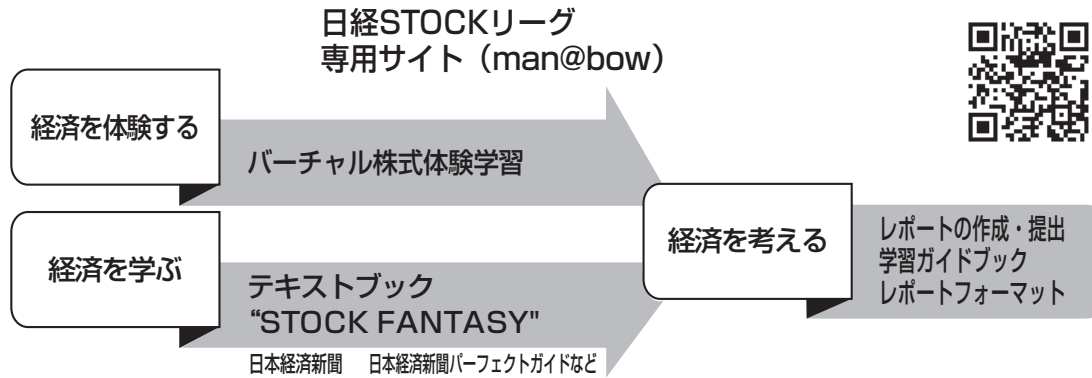
野村ホールディングス(株) コーポレート・シティズンシップ推進室

E-MAIL: manabow@jp.nomura.com

「日経STOCKリーグ」事務局

TEL: 03-3545-9823

E-MAIL: stockleague@info.email.ne.jp



【学習教材】

レポートフォーマット

レポートフォーマットをベースとした学習で経済・株式投資の考え方を身につけることができます。

- ・学習サイトman@bowからダウンロードするレポートフォーマットをベースに学習・レポート作成を行います。
- ・レポートフォーマットは、「基礎学習」「レポート書式」に分かれています。
- ・「基礎学習」は各チーム必須です。経済・株式投資に対する基礎知識を向上させることでより発展的なチーム内の議論につなげてもらいます。
- ・「レポート書式」はそれに沿って学習を進めればレポートが完成するように構成されています。よりオリジナリティーを発揮してレポート作成を行いたいチームは「レポート書式」を使用しなくても結構です。

インターネット

「バーチャル株式体験学習」 チーム登録後から参加できます

- ・各チームに与えられた仮想株式投資資金500万円をもとに、チーム登録後から9月28日（木）まで基礎・補助学習として、株式の売買をバーチャル体験することができます（任意参加）。
※9月29日（金）にリセットされます。
- ・10月2日（月）以降の日経STOCKリーグ経済・株式投資学習期間で構築するポートフォリオとあわせてバーチャル投資を行い、株価の動きをチェックしてみてください。11月30日（木）が最終売買日です。12月1日（金）にポートフォリオが固定されます。
2018年3月下旬まで閲覧することができます。

配布物

- ①学習ガイドブック
※学習サイトman@bowよりダウンロードしてください。
 - ②レポートフォーマット
※学習サイトman@bowよりダウンロードしてください。
 - ③野村ホールディングス提供 学習テキストブック「STOCK FANTASY」－指導教諭（教官）、チームメンバー 全員に各1冊
※経済、金融、株式などのしくみや構造を分かりやすく説明した、オリジナル学習テキストです。
 - ④「日本経済新聞パーフェクトガイド」－1チームに1冊
※日本経済新聞の株式面等の読み方を分かりやすく説明した小冊子です。
 - ⑤「日経会社情報」お試しID付与
 - ⑥日本経済新聞－2017年10月より12月の3ヶ月間毎日（予定）
※担当教諭（教官）宛に最低1部配送いたします。（希望者のみ）
 - ⑦日本経済新聞電子版お試しID付与－2017年10月より12月の3ヶ月間（予定）
※希望者のみに配布 9月のお試しID登録期間中に「日経STOCKリーグ バーチャル株式投資」からリンクする専用サイトから申し込み
 - ⑧日経STOCKリーグ記念本
※初参加の担当教諭（教官）に1冊
- ※上記配布物の発送先は、日本国内のみとさせていただきます。

学 習 内 容

バーチャル株式体験学習 : チーム登録完了後 ~ 2017年9月28日 (木)
 学習およびレポート作成 : 2017年10月2日 (月) ~ 2018年1月10日 (水)

基礎学習 学習ガイドブックなどの教材をベースにした経済・株式投資学習

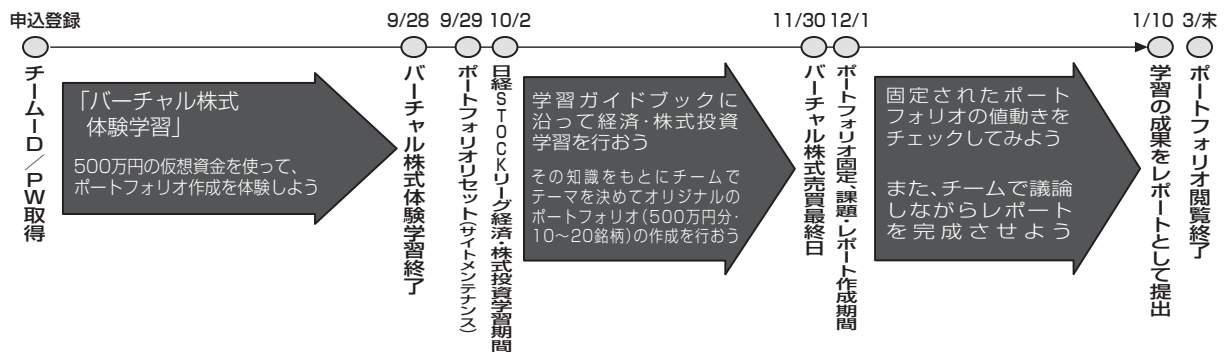
学習ガイドブックなどの教材をベースに経済・株式投資について理解する。

学習ガイドブック (学習サイトman@bow上からダウンロードできます)、提供される学習テキスト「STOCK FANTASY」「日本経済新聞」および経済学習サイト「man@bow」を活用して学習を進めてください。
 この学習を通して経済・株式投資の基礎を学び、実生活で役立つ知識を身につけます。
 学習の成果を確かなものとするため、レポートフォーマット (man@bowよりダウンロード) の「基礎学習」を行ってください (必須)。

レポート作成 投資テーマ決定・ポートフォリオ構築・レポート作成

チームで投資テーマを決め、ポートフォリオを構築。
 学習の成果をレポートにまとめる (「レポート書式」の使用は任意)。

基礎学習で学んだ知見を持ち寄り、チーム内で議論して投資テーマの決定、500万円分のポートフォリオ (10銘柄以上、20銘柄まで) の構築を行い、レポートを完成させます。
 レポートには、経済・株式投資について自分たちで学習したこと、各チームの投資テーマおよびその決定理由や構成ポートフォリオ、銘柄決定理由 (そのプロセスを合わせて)、その他自分たちで疑問に思ったこと、もっと調べてみたいと思ったことや学習全体を通じて考えたことなどを記入します。
 また、バーチャル株式投資システム上で各チームに500万円分の仮想株式投資資金が与えられます。こちらのシステムをポートフォリオの構築の一助としてご活用ください。
 銘柄の購入は、事務局発行のIDおよびパスワードを使って、man@bow<<http://manabow.com/>>よりアクセスして行って下さい。
 銘柄の購入の期限は10月2日 (月) より11月30日 (木) までとし、それ以降はそのまま保有し、途中の売買はできません。チームのポートフォリオの値動きを観察し、なぜそのような変化が生じたのかなどチームで議論してみてください。
 ※レポートフォーマットの「レポート書式」は、それに沿って学習を行えば、レポートが完成するように構成されていますが、自由にレポート作成を行いたい場合は利用しなくても結構です。



レポート提出要項

- レポート課題
 1. レポートフォーマット「基礎学習」の実施 (必須)
 2. レポート作成
 レポートフォーマットの「レポート書式」の使用は任意。
 ※レポートフォーマットは、学習サイトman@bow上からダウンロードをお願いします。
- レポートの体裁
 - ・「基礎学習」「レポート部分」合わせてA4用紙30枚以内 (字の級数は10.0pt以上)
 - ※上記枚数をこえるレポートは各賞の審査対象から除外となります。
 - ※「レポート書式」を使用する場合は、枠を外して頂いても結構です。
 - ※個人情報および著作権の対象となる文章・画像については、man@bow等に掲載の際、修正をお願いする場合があります。ご了承ください。
- レポート審査のポイント
 1. 経済や株式投資の理解
 2. ポートフォリオの創造性、ユニーク性
 3. 表現力・文章力
 4. 学習に対する熱意・意気込み
 5. ポートフォリオの理論性、専門性 ※大学生のレポートのみ、審査対象とします。
- 提出方法
 man@bow内の専用提出フォームからのアップロード形式にてご提出をお願い致します。
- 提出締切日
 2018年1月10日 (水) 午後5時

応募概要

- 内 容** 中学生、高校生、大学生を対象とした株式学習コンテストです。
投資テーマを決め、ポートフォリオを作成し、レポートにまとめます。
レポートの提出締め切りは2018年1月10日(水)午後5時です。
- 参加資格** 国内・海外在住の中学生、高校生、大学生(短期大学生、専門学校・各種学校生含む)
 - * 1チーム3～5名(厳守)とし、同じ学校、同じ部門(中学・高校・大学・専門学校)単位で申し込んで下さい。
 - 同じ学校内であれば、チーム編成はクラス、クラブ、ゼミなど自由です。
 - * なお、ご参加いただく際は原則ご指導いただく教諭(教官)をお付け下さい。
 - 指導教諭(教官)1名につき何チームでもご参加いただけます。
 - * 但し、指導教諭(教官)がいない場合でも参加は可能です。
 - 詳細は事務局まで連絡下さい。
- 参加申込方法** <http://manabow.com/>より参加申し込みをして下さい。
他の方法(電話、FAX等)での参加申込はお受けできませんので、予めご了承下さい。
- 説 明 会** ご指導いただく教諭(教官)向けに、7月28日(金)に大阪、31日(月)に東京で説明会を開催する予定です。出席可能な方はぜひご参加下さい。
説明会では、学習指導方法など、学習の手助けになるような内容を紹介します。
- 賞**
 - 最優秀賞(全参加チームより1チーム)
チームメンバー全員を海外研修旅行にご招待(2018年3月18～23日を予定)
 - 部門優秀賞(中学、高校、大学部門より各1チーム、計3チーム)
〔中学部門〕ユニバーサルスタジオ・ジャパンまたは東京ディズニーリゾートにチームメンバー全員をご招待(1泊2日)
〔高校・大学部門〕賞金20万円
 - 敢闘賞(中学、高校、大学部門より数チーム)
〔中学部門〕図書カード5万円分
〔高校・大学部門〕賞金5万円
- 【新設】○アイデア賞(中学、高校、大学部門より数チーム)
〔中学部門〕図書カード3万円分
〔高校・大学部門〕賞金3万円
- 【新設】○ルーキー賞(参加回数が3回以内の中学・高校、大学部門より数チーム)
〔中学部門〕図書カード3万円分
〔高校・大学部門〕賞金3万円
 - * レポートを提出した全チームに「記念品」を差し上げます。
- NOMURA Award(特別協賛社賞)
これまで日経STOCKリーグを通じて、金融経済教育に長く取り組まれた指導教諭(教官)の方々を野村ホールディングスより表彰します。
 - * 受賞チームは2018年2月下旬に決定・発表します
 - * 受賞チームにメールにて通知致します。man@bowサイトでも発表致します。
 - * 「表彰式」にて最優秀賞、部門優秀賞、敢闘賞、アイデア賞、ルーキー賞チームの表彰を行いますので、受賞したチームは表彰式にご出席下さい。(交通費は支給いたします)
- 表彰式** 開催日: 2018年3月10日(土)(予定)
会 場: 東京都千代田区大手町 日経ビル(予定)

※受賞校、受賞者名は日本経済新聞紙上に紹介される予定です。
また、インターネット上のman@bowに入賞チームのレポート掲載を予定しています。

参 加 数

参加チーム数（ ）内は参加生徒数

回数	中学	高校	大学・専門学校	合計
第17回	157 (618)	807 (3,140)	654 (2,704)	1,618 (6,462)
第16回	66 (258)	691 (2,668)	672 (2,661)	1,429 (5,587)
第15回	92 (335)	638 (2,361)	631 (2,471)	1,361 (5,167)
第14回	122 (461)	697 (2,658)	665 (2,580)	1,484 (5,699)
第13回	80 (340)	597 (2,358)	610 (2,422)	1,287 (5,120)
第12回	162 (630)	649 (2,644)	609 (2,467)	1,420 (5,741)
第11回	85 (365)	618 (2,495)	862 (3,471)	1,565 (6,331)
第10回	142 (600)	631 (2,500)	826 (3,298)	1,599 (6,398)
第9回	82 (337)	946 (3,669)	865 (3,443)	1,893 (7,449)
第8回	191 (780)	1,046 (3,998)	876 (3,625)	2,113 (8,403)
第7回	226 (895)	1,030 (3,985)	809 (3,313)	2,065 (8,193)
第6回	249 (984)	1,004 (3,865)	763 (3,102)	2,016 (7,951)
第5回	213 (850)	925 (3,592)	779 (3,135)	1,917 (7,577)
第4回	110 (424)	581 (2,269)	663 (2,700)	1,354 (5,393)
第3回	156 (583)	455 (1,748)	655 (2,649)	1,266 (4,980)
第2回	113 (450)	414 (1,658)	581 (2,365)	1,108 (4,473)
第1回	募集なし	397 (1,642)	226 (962)	623 (2,604)

注) 参加校の詳細は、man@bowサイトで紹介しています。

第17回入賞チーム及びレポートタイトル

最優秀賞／金融担当大臣賞(全参加チームより1チーム)

東京大学 経済学部・工学部・法学部・教養学部 2・3年 (東京都)

「Compact City ～投資で創る未来の街並み～」

部門優秀賞・中学部門(1チーム)

筑波大学附属駒場中学校 3年 (東京都)

「ぼくらの資本主義」

部門優秀賞・高校部門(1チーム)

愛媛県立松山東高等学校 1年 (愛媛県)

「Life×Technique ～命あるものと技術をつなげるバイオメティクス～」

部門優秀賞・大学部門(1チーム)

東京大学 経済学部 3・4年 (東京都)

「複数時間軸経営のすすめ」

敢闘賞(5チーム)

田園調布雙葉中学校 3年 (東京都)

「進歩していくイスラム市場～求められる多様性～」

愛知県立愛知商業高等学校 3年 (愛知県)

「日本と世界の架け橋へ ～ハラルがもたらす友好と第2次爆買いブーム～」

筑波大学附属駒場高等学校 1年 (東京都)

「理想的なインパクト・インベストメントを目指して～原発の廃止措置への投資～」

神戸大学 経済学部 3年 (兵庫県)

「競争から共創へ！ ユーザーイノベーション」

同志社大学 経済学部 3年 (京都府)

「世界の市場を掴み取れ！ ～もう止められないShare!革命～」

審査委員特別賞(4チーム)

名古屋大学教育学部附属中学校 3年 (愛知県)

「支援から投資へ～アスリートの積極雇用によるマイナー競技への投資～」

お茶の水女子大学附属中学校 3年 (東京都)

「Help My Mother～今から始める親孝行～」

立教池袋高等学校 1年 (東京都)

「紙ってる！？ CNF CHANGES THE WORLD」

静岡県立榛原高等学校 1年 (静岡県)

「MagNext～磁石と創る次の日本～」



レポート作成Q & A

Q レポートフォーマットの使用は、必須でしょうか？

⇒レポートフォーマットの「基礎学習」(穴うめ)は必須です。「レポート書式」部分はそれに沿って学習を進めればレポートが完成するように構成されています。よりオリジナリティを発揮してレポート作成を行いたいチームは「基礎学習」と合わせてA4用紙30枚以内を守っていれば「レポート書式」を使用しなくても結構です。

Q 【基礎学習】得点評価になりますか

⇒具体的に得点をつけて評価するわけではありませんが、きちんと各設問に回答しているレポートを提出いただくことが最低条件となります。

Q 30枚に近いほうが評価が高くなりますか

⇒枚数によってレポート評価が上下することはありません。ただ、31枚以上は審査対象外となります。

＜「レポート書式」を使用してレポート制作を行う場合＞

Q レポートフォーマット内記入欄の四角囲みを外してレポートを執筆しても大丈夫でしょうか。

⇒四角囲みを外して執筆いただいて問題ございません。
また、レポートフォーマット内にある表(例:【3-2】ポートフォリオの構成銘柄表等)の体裁変更も可となります。

Q 項目の解説文はレポートに残しておく必要がありますか。

⇒項目の解説文は残していただくなくても結構です。

Q 要旨はどれぐらいの分量が必要でしょうか。

⇒基準となる分量は定めていないので、各チームの判断で決めるようにしてください。

Q 目次はどの程度のものが必要でしょうか。

⇒レポートの構成がわかれば簡易的なもので大丈夫です。

Q 「暮らしや社会の変化と経済との関係」や「投資テーマの決定」においてあらかじめテーマを決めてレポート作成に取り組んでいる場合、1つしかテーマを記載できないがそれでも良いのでしょうか。

⇒なぜそのテーマにあらかじめ決めていたのかをレポートに記載してください。必ずしも複数の検討テーマが必要ではございません。

Q 「投資テーマの決定」の【2-1】において記事ではなくチーム内の議論がもとになった場合、日付や出所はどのように書けばよいですか。

⇒出所がチーム内の話しあいなどメディア外の情報であれば、話し合いをした日付と「チーム内の話し合いから」と出所に記載してください。

Q スクリーニングは第3スクリーニングまで実施しなければならないのでしょうか。

⇒第3スクリーニング以上でも以下でも問題ございません。

Q 図表について文字が10.0ポイント以下の級数になっても良いのでしょうか。

⇒見やすさを優先してもらい、場合によって小さくなる場合は不問とします(横幅が入らない、ページが分かれてしまうなどの場合を想定)。

Q レポート作成にない項目を新たに立てても良いですか。

⇒必要に応じて新たな項目を立てていただいて構いません。

Q 【3-2】で購入銘柄の説明を入れたい場合は、どこに明記すればよいですか。

⇒「レポート書式」内にある表に付け加えるか表の下部などに説明を行うスペースを設けて記載をお願いいたします。もしくは「日経STOCKリーグを通して学んだこと」内に記載いただく形でも問題ございません。

Q 【3-3】「ポートフォリオを構成する各銘柄の値動きをチェックし、気付いたことをまとめよう」とありますが、購入銘柄全てを確認しなければならないのでしょうか(最大20銘柄)。

⇒気付いた点のある銘柄のみで大丈夫です。

スケジュール

年	月	日	曜日	スケジュール
2017年	5月	29日	(月)	経済学習サイト「man@bow」(http://manabow.com/)で参加登録受付開始 参加チームに対し、随時ID / パスワードを連絡 「バーチャル株式体験学習」(任意参加：9月28日(木)まで)
	6月	30日	(金)	第1次参加申込み締切 ※第1次締切までにお申込みの方には、7月中旬に学習教材をお送り致します。
	7月	下旬		指導教諭(教官)向け説明会 28日(金)大阪、31日(月)東京にて開催予定
	9月	5日	(火)	最終参加申込み締切
	9月	28日	(木)	「バーチャル株式体験学習」終了
	9月	29日	(金)	ポートフォリオのリセット ※サイトメンテナンスのため、バーチャル株式投資システムは利用できません。
	10月	2日	(月)	「株式投資学習」開始 ※バーチャル株式投資システムを活用してポートフォリオを構築
	11月	30日	(木)	バーチャル株式売買最終日
	12月	1日	(金)	「ポートフォリオ固定」開始 ※この期間は銘柄を保有するのみで、売買はできません
	2018年	1月	10日	(水) レポート提出締切日
	1月	下旬		一次審査通過レポート発表
	2月	中旬		二次審査通過レポート発表
		下旬		最終審査会・各賞発表
	3月	10日	(土)	表彰式&懇親会等のイベント ※予定
		18日	(日)	最優秀チームの海外研修旅行 ※予定
		23日	(金)	

参加申込期間

実施期間

審査期間&結果発表

ご登録は・・・

<http://manabow.com/>

第1次締切：**6月30日(金)**

最終締切：**9月 5日(火)**



第1回～17回 日経STOCKリーグの結果につきましては、
[man@bow](http://manabow.com/)(<http://manabow.com/>)をご覧ください。

●問い合わせ先●

「日経STOCKリーグ」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4-3-3 東銀座ビル3F

TEL.03-3545-9823 FAX.03-3545-6993

E-mail:stockleague@info.email.ne.jp